

知って得する!

住まいの省エネ

主催：NPO法人環境の杜こうち
みんなで止めよう温暖化

香南市では、市及び高知県の文化・風土を生かした「住宅からのCO2排出削減に寄与する香南市版モデルの省エネ住宅」の提案と普及・啓発を推進しています。

これから家を建てたい人や改築したい人だけでなく、『できるだけ冷暖房機に頼らず、自然と共生し一年を通して快適で健康的な生活を送りたい』と願う皆さまに、住まいの省エネとエコロジックな住環境のためのアイデアを提案していきます。

省エネ住宅とは...

住宅において使用されるエネルギーは、実に様々なものがあり、なかでも大半を占めるのが、冷暖房と給湯のためのエネルギーです。地球温暖化防止のためにも、この消費量をより少なくし、自然と共生する健康的な生活を送ることができる住宅を「省エネルギー住宅」といいます。



「住まいの省エネ講座」を受講しませんか？

今住んでいる住宅の効果的な省エネ対策は何？どんな省エネ機器があるの？自分でできる住まいの省エネ対策って？風土を生かした住まいの工夫は？地震対策も知りたい！などなど、そんな省エネ住宅について分かりやすく学べる講座を開催します。

- 講座1：10月28日(土)「高知の住まいと環境」
 - 講座2：11月26日(日)「地震と省エネの住まい」
 - 講座3：12月2日(土)「省エネ住宅見学会」
- 場所：のいちふれあいセンター
時間：午後1時30分～午後4時30分
参加費：無料(受講者数80人程度)

住まいの省エネ住宅アイデア募集!

住まいの省エネを実践されている人のアイデアや、省エネ住宅に関するアイデアを募集します。表現方法は自由です。

なお、応募していただいたアイデア作品は、のいちふれあいセンター等に展示し、省エネ住宅の普及啓発に役立てます。

応募者には粗品を進呈。また、優れたアイデアは表彰し、省エネグッズをプレゼントします。

応募連絡先
環境対策課まで



外の暑さを室内に入れない「よしず」

豊かな環境を引き継ぐため 環境監視員を委嘱

市環境基本条例に基づき、環境の状況の把握、監視、さらに良好な環境の保全や創造など、環境行政を適正に実施していくために、環境監視員を委嘱しました。

子どもや孫たちの代まで、さらには子々孫々に至るまで、『良好な環境を引き継ぐ』ことは、現在に生きる私たち、みんなの務めです。今後、環境の監視や指導のために、市内各地域を巡回しますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

- 公家 靖孝さん(野市町西野)
- 西内 治水さん(夜須町西山)
- 北村 信さん(吉川町吉原)

三宝山市道堀之内添地線(香我美・夜須)をきれいにし不法投棄をやめさせよう!!

清掃活動への参加者募集



いま、三宝山や農免道路がごみの山となっています。

道端には弁当の食べかすや雑誌などが、奥に目をやると空き缶やタイヤ、テレビなどなど... 心ない人たちによって自然が汚され、本来の美しい景観が損なわれています。

私たちの街から不法投棄をなくしましょう。たくさんの皆さんの参加、協力をお願いします。

日時:11月5日(日) 午前8時～正午
〔雨天の場合は11月12日(日)に延期〕

内容:旧龍河洞スカイライン
農免道路(香我美・夜須間)

持参するもの:タオル(軍手は支給)
ご協力いただける人は10月20日(金)までに連絡ください。

連絡先 環境対策課まで



このおイモおおきい～!

夜須幼稚園 ジャガイモ植えとサツマイモ収穫

夜須幼稚園の園児五十八人が九月十五日(金)八幡神社裏の畑で五月に植えたサツマイモを収穫しました。JA土佐香美青壮年部夜須支部のメンバーが掘り返してくれた土の中には大きなサツマイモがたくさん。袋いっぱい収穫した園児らは「重い! 持って帰れん」とにこにこ顔。ジャガイモ植えも同時に行い、並べた種イモに土をかぶせていきまし た。三〇kg植えたジャガイモは十一月頃に収穫する予定です。



チームみんなで優勝へ

市内中学校運動会

9月12日(火)赤岡中学校を皮切りに、市内各中学校で運動会が行われました。悪天候で各学校とも延期になり、9月19日(火)に香我美中学校、9月20日(水)に夜須中学校、9月23日(土)に野市中学校での開催になりました。

生徒は夏休み前から練習してきた創作ダンスや応援合戦を一杯行いました。騎馬戦では熱くなり判定が長講する場面も。クラブ対抗リレーでは先生チームも本気になり健闘しました。ムカデ競争や綱引きなどでもチームで勝利を奪い合いました。各学校とも団結力が一層深まる運動会となりました。



抱き方がわからん～

野市中学校 赤ちゃんふれあい

9月11日(月)野市中学校3年生が1年間を通して同じ赤ちゃんとふれあい、自分がどれだけ大切に育てられてきたのかを学習する「共感教育」として「赤ちゃんふれあい」が行われました。

今年初めて文部科学省の「豊かな体験活動推進事業」の助成を受けて実現したこの事業は今回、2回目。生徒は前回返りをうつのがやっとだった赤ちゃんが、はいはいをしていることに感動したり、お母さんに準備していた質問をしたりと1歳に満たない赤ちゃんと積極的にふれあいました。次回は11月に行われ、最終の回では満1歳の誕生日を共に祝います。